

大規模災害発生時を見据えた災害廃棄物対策のあり方について

環境省では、平成27年度に災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）発足以降、毎年、「災害廃棄物対策推進シンポジウム」を開催しており、近年の非常災害の教訓に基づく災害廃棄物対策の今後のあるべき姿や、大規模災害に備えた災害廃棄物対策のあり方について、多くの有識者や災害廃棄物処理を経験した行政職員、民間事業者に講演いただいている。

災害廃棄物対策シンポジウムの概要は以下に示すとおりである。シンポジウムでの講演資料は「環境省災害廃棄物対策情報サイト」(<http://kouikishori.env.go.jp/>)で掲載されているため、参照いただきたい。

1. 平成28年度災害廃棄物対策推進シンポジウム（2017年1月25日開催）
2. 平成29年度災害廃棄物対策推進シンポジウム（2017年12月14日開催）
3. 平成30年度災害廃棄物対策推進シンポジウム（2019年1月22日開催）
4. 令和元年度災害廃棄物対策推進シンポジウム（2020年1月14日開催）

1. 平成28年度災害廃棄物対策推進シンポジウム（2017年1月25日開催）
 - (1) テーマ 近年の非常災害の教訓に基づく災害廃棄物対策の今後のあるべき姿とは
 - (2) プログラム
 - 1) 開会
 - 2) 基調講演

大規模災害発生時を見据えた災害廃棄物対策のあり方について
（京都大学環境科学保全センター センター長 酒井 伸一）
 - 3) 講演

市町村のための水害対応の手引きの策定と内閣府の取組み
（内閣府防災担当）

近年の災害における東京都の災害廃棄物支援と首都圏直下地震も踏まえた今後の取組み
（東京都環境局計画課）

環境省による災害廃棄物対策
（環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 廃棄物対策課災害廃棄物対策室）
 - 4) パネルディスカッション

「災害廃棄物の初動対応の観点からのあるべき姿について」
 - 5) 閉会
2. 平成29年度災害廃棄物対策推進シンポジウム（2017年12月14日開催）
 - (1) テーマ 同時多発化する自然災害に備えた災害廃棄物対策のあり方とは
 - (2) プログラム

災害廃棄物対策の現状と課題（国立環境研究所）

平成28年熊本地震における災害廃棄物処理に係る支援の概要（熊本県）

地方環境事務所の取組（関東地方環境事務所）

自然災害におけるメディアの役割（全国地方新聞社連合会）

モデル事業の実施例（東京都八王子市）

【技2-1-5】

モデル事業の実施例（広島県福山市）

災害廃棄物対策に係る民間の取組事例（日本貨物鉄道株式会社）

災害廃棄物対策の今後のあり方（環境省環境再生・資源循環局災害廃棄物対策室）

3．平成30年度災害廃棄物対策推進シンポジウム（2019年1月22日開催）

プログラム

1）開会

2）基調講演

大規模災害発生時における災害廃棄物対策

（京都大学防災研究所 教授 牧 紀男）

3）講演

大規模災害における広域的な災害廃棄物処理について

（一般社団法人 日本災害対応システムズ 事務局長 舟山 重則）

被災、支援経験自治体による知見の共有

（福岡県朝倉市役所 市民環境部環境課リサイクル推進係 係長 上村 一成）

大規模災害における被災自動車の処理に係る自治体支援

（公益財団法人 自動車リサイクル促進センター 再資源化支援部 部長 山中 俊哉）

4）閉会

4．令和元年度災害廃棄物対策推進シンポジウム（2020年1月14日開催）

（1）テーマ 災害発生時の初動対応について 住民・ボランティア等に対する情報の発信、伝達のあり方

（2）プログラム

1）開会

2）講演

近年の大規模災害における環境省の取組について

（環境省廃棄物適正処理推進課 課長 名倉 良雄）

ボランティアの立場から見た災害時の情報共有について

（特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事務局長 明城 徹也）

3）パネルディスカッション

大規模災害の災害廃棄物処理における、県と市町村における情報発信のあり方及び災害時初動対応について

4）講演

災害時の広報戦略について

（神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 教授 安富 信）

5）講演